

平成 20 年度第 8 回理事会抄録

日時：平成 21 年 3 月 20 日（土） 13：00～16：50

場所：日本作業療法士協会事務所 10 階会議室

出席：杉原（会長）、中村、山根（副会長）、荻原（事務局長）、古川、長尾（監事）、鈴木（名誉会員）、岩瀬、太田、香山、棚澤、小林（正）、早川（常務理事）、大熊、大丸、片岡、小林（毅）、坂井、日垣、三澤、山本（理事）、石塚（部長）、土井、池ノ谷＜代理＞（委員長）、関（士会連絡協議会長）

I 審議事項

1.平成 21 年度の活動計画と予算案について（石塚財務部長）[収入]積立預金の額を変更。[支出]士会システム担当者の研修会の費用を法人運営費から調査部に移行した。特別企画費の「都道府県 OT 士会との連携活動」については、担当理事がブロック研修会に参加するための旅費を計上した。当初提案されていたリーダー研修の予算は、生涯教育の研修などに織り込む方向で削った。→承認

2.第 44 回日本作業療法学会（宮城）の予算案について（石塚財務部長）収入は正会員会費前納分 2050 名、当日納付分 1000 名、1 日参加 450 名、一般補助金 300 万、その他で合計 6087 万円。支出 6087 万円となっている。「1 日参加」の料金設定については、学会評議委員会と調整して統一することとして承認される。→承認

3.WFOT 世界大会の予算案と特別会費の徴収について（杉原会長）WFOT 世界大会の支出予算の概算見積もり 2 億 4175 万円に対し、補助金、寄付金、展示会収入を固定した上で、自己資金（積立および特別会費）と登録料の額を調整した 4 つの収入予算案が提案された。参加しやすい登録料を設定するために、事前に全会員から特別会費を徴収する案については、活発な議論の結果、会員への十分な周知と理解を得る必要があることから、特別会費が必要になった場合には改めて提案を行うこととなった。→承認

4.名誉会員表彰候補者の推薦について（杉原会長）士会より 2 名の推薦があったが、協会役員歴が規定に達していない等の理由から見送ることとし、今年度は理事会推薦の 6 名のみを推薦する。協会設立時の貢献者は特別枠で表彰してはどうか等の意見については、表彰委員会、規約委員会で改めて規約を検討・整理し、次年度に向けて再度提案することとなった。→承認

5.第 7 回協会・士会合同研修会について（大熊士会組織担当理事）第 7 回の合同研修会の日時と場所について提案され、9 月第 2 週の土曜・日曜に都内で開催することで承認される。具体的な内容については、今後の理事会で再提案をする。→承認

II 報告事項

1.第 44 回作業療法士国家試験問題について（岩瀬養成教育部担当

理事) アンケート調査の結果、151 校中 76 校から回答があり、適切でない指摘のあった問題数は 69 問。細かく検討した結果、そのうち 4 問を適切でないとして意見書を厚労省に提出した。

2.「作業療法学全書」の進捗状況について(岩瀬養成教育部担当理事) 平成 19 年度内発刊予定が遅れており、全 13 巻のうち 5 巻が刊行済み。4 巻が 6 月までには刊行予定。

3.生涯教育制度の構造図の変更について(早川生涯教育部担当理事) 内容はすでに理事会で承認されているが、今回、構造図を変更した。

4.訪問リハビリテーション振興委員会について(中村副会長) 今回改定で見送りとなった単独型訪問リハビリテーションステーションの平成 23 年度改正時の実現に向け、PT、OT、ST、訪問リハビリテーション研究会の 4 者が振興委員会を構成することとなった。事業として①訪問リハビリ実務者研修、管理者研修、②訪問リハに関する調査及び研究、助成を行う。

5.作業療法実施手順書(「脳卒中手順書」)について(片岡保健福祉担当理事) 脳卒中の地域連携パスやクリニカルパスの中に作業療法がどう関わるか、今後の使い方についても検討が必要等の意見が出される。

6.平成 20 年度作業療法推進活動モデル事業の結果報告について(大熊士会組織担当理事) 平成 20 年度のグッズの製品名、製作費、使用した催し等を一覧表にした。

7.新公益法人制度への対応について(荻原事務局長) 認定に向けてのスケジュールの報告。平成 21 年 6 月総会にて大方針を発表し承認を得、7 月に公益認定準備委員会を設置。平成 22 年 3 月、5 月理事会で審議し、6 月総会に最終提案。

8.会費払込取扱票の不具合について(荻原事務局長) 会費の振込みができなくなるトラブル。東京コロニーより報告と陳謝があった。

9.渉外活動報告

1)(山本保険部担当理事) 2 月 26 日、第 1 回介護支援専門員の医療的ケアの知識向上のための調査研究会に出席。

2)(大丸保健福祉部担当理事) 2 月 25 日テクノエイド協会の評議委員会に出席。福祉用具の臨床的評価事業が予算化された。

3)(小林(毅)国際部担当理事) 3 月 5 日 JIMTEF の医療関連職種 24 団体協議会に出席。

4)(山本保険部担当理事) 3 月 9 日全老健の第 5 回社会保障制度・報酬委員会に出席。

10.その他

1)(土井企画調整委員長) 事業評価の報告が未提出の部(養成教育、生涯教育、広報、保険、国際)は 3 月末日までに必ず提出されたい。

2)(中村副会長) ①地域保健総合推進事業の報告書が完成②高齢者

地域包括支援のあり方研究事業の報告集会を福島学会時に行いたい。

3) (小林(毅)理事) 国立循環器病センター関係の委託研究費は今年度で終わる。本日最終報告書の最終校正を印刷に出し、4月には報告できる。

4) (杉原会長) WFOT 認定等教育水準審査の結果を地方厚生局に届けに行く理事が地方ごとに決まる。

5) (香山精神障害問題担当理事) 「精神障害者の退院促進及び円滑な地域移行のための地域支援体制構築に向けた研究」の報告会を行いたい。

以上